

司法省日誌

八

明治七年六月



日本史籍協會編

司法省日誌
明治初期各省日誌集成

東京大学出版会

八

明治七年六月

司し法ほう省しょう日にっ誌し八

明治初期各省日誌集成 第一期

昭和五十九年四月二十八日覆刻

編者 日本史籍協会

代表者 森谷秀亮

東京都三鷹市大沢二丁目十五番十六号

発行者 財団法人 東京大学出版会

代表者 田中英夫

一一三 東京都文京区本郷七丁目三番一号
振替東京六一五九九六四

電話(八一)八八一四

印刷・株式会社 平文社

本文用紙・王子製紙株式会社

クロス・望月株式会社

製函・株式会社 光陽紙器製作所

製本・矢嶋製本株式会社

39087

ISBN4-13-093908-4

資料は国立公文書館所蔵本による。

日本史籍協會編

司法省日誌

全二〇卷

A 5 判

平均四六〇頁

各価六〇〇〇円

明治初期各省日誌集成第一期

卷	年	代	刊行月
1	明治六年一・二月	58年9月	
2	明治六年七・八月	10月	
3	明治六年八・九月	11月	
4	明治七年一月	12月	
5	明治七年二月	59年1月	
6	明治七年三・四月	2月	
7	明治七年五月	3月	
8	明治七年六月	4月	
9	明治七年七・八月	5月	
10	明治七年九・一〇月	6月	
卷	年	代	刊行月
11	明治七年二月	59年7月	
12	明治七年三月	8月	
13	明治七年索引	9月	
14	明治八年一月	10月	
15	明治八年二・三月	11月	
16	明治八年四・九月	12月	
17	明治八年一〇・三月	60年1月	
18	明治九年一・二月	2月	
19	明治九年三月	3月	
20	明治九年四・五月	4月	

司 法 省 日 誌

八

目 次

明治七年六月

第二百二號 (六月二日)

第二百三號 (六月三日)

第二百四號 (六月四日)

第二百五號 (六月八日)

第二百六號 (六月九日)

第二百七號 (六月十日)

第二百八號 (六月十二日)

第二百九號 (六月十三日)

第三百十號 (六月十四日)

第三百十一號 (六月十五日)

第三百十二號 (六月十七日)

第三百十三號 (六月十八日)

第三百十四號 (六月二十三日)

第三百十五號 (六月二十四日)

第三百十六號 (六月二十四日)

第三百十七號 (六月二十七日)

第三百十八號 (六月二十七日)

第三百十九號 (六月二十八日)

第二百二十號 (六月二十九日)

三六一

一
二
四
六
八
一〇
一二
一四
一六
一八
二〇
二二
二四
二六
二八
三〇
三二
三四

司法省日誌明治七年第百二號

○六月二日

〔大分縣伺〕七年五月十七日

銃獵規則第二十一條免許ヲ得スシテ獵スル者ハ五圓ヨリ不少二十圓ヨリ不多罰金ヲ出サシムト之アリ右犯則ノ者ハ情ヲ量リ範圍中適宜ニ處分可仕ハ勿論ニ候所山村僻邑ノ小民鳥獸ノ害ヲ被ル不勘依テ一時威ノ爲無願ニテ彈獲スル者間ニハ有之候ヘ共利ヲ營ム爲メ獵スル者トハ天淵ノ情異有之然ルヲ概シテ五圓以上ノ罰金ニ處シ候ハ實ニ憫然ニ付右等ハ御省日誌六年第二十七號名東縣伺ニ鳥威ノ爲メ空砲ヲ發スル者云々違式ニ問フ

ト御指令相見候ヲ援引シ情ヲ量リ違式輕重ニ擬シ候テ可然哉

同斷ノ者往來ノ途中不圖小鳥ヲ見當リ臨時彈獲スルハ如何處分可然哉

同斷ノ者二次以上ニ及フ者ハ罰則ニ依リ處分可然哉

同斷ノ者獲物ヲ食用ニ致シ候分ハ代價追徴ニ不及候テ可然哉相伺候也

指令

第一條 無願ニテ彈獲スル者ハ威ノ爲メト看做シ難ク其情空發スル者ニ比スレハ大ニ輕重アル者ニ付其罰則ニ照シ相當ノ罰金ヲ科ス可シ

第二條 其罰則ニ照シ相當ノ罰金ヲ科ス可シ

第三條 犯則ノ都度々々其罰則ニ照シ相當ノ罰金ヲ科ス可シ

第四條 既ニ食用ニ供シ候分ハ代價追徴ニ不及候事

〔司法省裁判所申渡〕

山口縣元士族歸商

青 海 裕 助

其方儀外國負債ニ付テハ一旦歸縣シ償却埒明可申旨其
筋ヨリ指令ヲ受歸郷ノ際病氣療養且金策ノ目途モ有之
迪私ニ西京ヘ立越滯留スルノ科違式輕ニ聞ヒ情狀ヲ酌
量シ例ニ依リ贖罪金七十五錢申付候事

〔筑摩縣伺〕七年五月九日

銃砲彈藥類取調規則ニ悖リ免許商人ニ寄ラス私擅ニ賣買又ハ典賣致ス者ハ壬申第二百八十二號御布告以前ニ係ルハ違令輕重ニ照シ處斷シ以後ハ其品取上更ニ五十錢ノ過料申付可然哉 但本文御布告以後ノ分自首スルルハ犯禁ノ品取上過料ハ免除シ可然哉右相伺候也

指令

壬申第二百八十二號布告以前規則ヲ犯ス者ト雖モ尙其罰則ニ照シ處分可致事但書伺ノ通

〔東京府伺〕七年五月十五日

人民諸願筋之儀ニ付許否之指令書ヲ遺失候モノハ地券

書遺失ト同様ニ看做シ可然哉ニ候得共爲念相伺候條御指示有之度候也

指令

伺之通

○六月三日

〔島根縣伺〕七年五月
二十七日

懲役終身以下ノ囚疾病危篤ニシテ臨終旦夕ニアル者ノ家族ノ内懲場ニ就キ介抱致シ遣シ度段願出候者ハ差許候テモ不苦儀ニ候哉相伺候也

指令

懲役終身以下ノ囚懲役限内病ニ罹リ危篤ニシテ快愈ノ
 徴候ナキ者醫案確實ナレハ收贖シテ家ニ歸ス家人ヲシ
 テ介抱セシムルヲ聽サス 但人命放火等ノ犯ニテ懲役
 終身ニ處セラル、者ハ收贖ヲ聽サス

〔愛知縣伺〕

七年五月
 二十四日

本年五月四日別紙寫之略
 ノ後資産金ヲ以テ賠償シ自首スル者自首律ニ正條無之
 ニ付處分ノ儀相伺候所同月十九日伺ノ通ト御指令相成
 右ハ犯罪自首條ニ照シ免罪ト相心得可然哉相伺候也

指令

伺ノ通但自首ハ全ク贓ヲ償フ者ニ非レハ全免ヲ與ヘス

資金ヲ携ルト追徴ニ係ルト差異アルヲナシ本犯ノ如キ即チ免罪

○

初木裁判所ヨリ七年四月下野國都賀郡下宿村農中田兵三郎

卒島村農小藪茂三郎常陸國新治郡成井村無籍中澤幾次

郎岐阜縣ヨリ同月下總國相馬郡守谷上町商忠兵衛二男關

濱吉東京裁判所ヨリ同月駒込千駄木町商伊兵衛長男向井

庄六藤吉二男堀口竹三郎佐助二男高橋與三郎小石川中

富坂町三好長義厄介叔母キン同所ヨリ同年五月德丸本村火

ノ番常吉長男福井紋次郎千葉裁判所ヨリ同月濱松縣士族

永田方容神奈川裁判所ヨリ同月相模國三浦郡上宮田村農

惣右衛門三男吉田由五郎伊豆國田方郡塚本村無籍安五郎下野國河内郡宇都宮無籍關吉太郎熊谷裁判所ヨリ月同上野國群馬郡東貝澤村農紋右衛門二男高橋秀吉等各處斷伺ニ茂三郎兵三郎幾次郎濱吉ハ持兇器強盜人ヲ殺ス者キンハ火ヲ放チ故ヲニ民舍ヲ燒ク者方容ハ同上公廨倉庫ヲ燒ク者庄六以下八人ハ持兇器強盜財ヲ得ル者ニ付十四名共皆斬罪ト指令アリ

〔東京裁判所伺〕

十七年五月十七日

自己及ヒ他ノ所有ヲ分タス其邸宅内ニ於テ遺失物ヲ得官ニ送ル者物品盜贓ニ係ルト否ヲ問ハス主アルハ全ク其主ニ給シ三十日内ニ主ナケレハ得ル者ニ給スヘキ儀

ニ候哉

邸宅内ト稱スルハ垣牆内亦ハ邸ニ接續スル林園ノ類ヲ云フ乎

自己ノ所有地ト雖モ垣牆外ノ田畑或ハ宅前等ニテ遺失物ヲ得ルハ物品盜賊ニ係ルト雖モ改定律例第二百八十三條ニ依リ處置スヘキ哉

詐欺取財等手段ノダメ物品ヲ預ケ置クニ主ナキハ預リ主ニ給シ若クハ甲ニテ詐取スル品ヲ乙ニ預ケ置ク類ハ取上甲ニ還付セシムヘキ哉

盜賊ト不知寄藏シ或ハ盜難跡ニ賊遺忘スル品他ニ事主アルハ全ク其主ニ給シ主ナキハ遺失物ヲ得ルト同視シ

家主ニ給スヘキ哉假令ハ混堂或ハ割烹店客塵等ニテ他客ノ品ヲ竊取シ跡ニ捨置ク品ハ其事主ニ給スヘキ乎塵主ニ給ス可キ哉

村町吏或ハ地守其他看守人等其管守スル所ニテ遺失物ヲ得ル者ハ改定律例第二百八十四條ニ照シ處分スヘキ哉右相伺候也

指令

第一條 律例第二百八十三條ニ依リ處分スヘシ

第二條 垣牆内ヲ邸内ト云フ林圃ハ垣牆内外ヲ以テ區分ス

第三四條 伺ノ通

第五條 前項ハ伺ノ通後項モ亦事主ニ給ス事主ナケレ

ハ塵主ニ給ス

第六條 區長戸長ハ伺ノ通其他ハ凡人ト同ク處分スヘ

シ

○

岡山縣ヨリ

七年三月

備前國津高郡菅野村農榮吉弟當時懲役

人赤木俊藏限内重病ニ付處置伺ニ老疾收贖例圖ニ照シ

剩ル日數ヲ收贖シテ放免ス可シト指令アリ

〔京都裁判所伺〕

七年四月三十日

六年第二百六十七號御布告ヲ以テ監守常人盜再犯以上
加等ノ例ヲ修メラレ右ハ各其犯數ニ依テ加等スルノ例